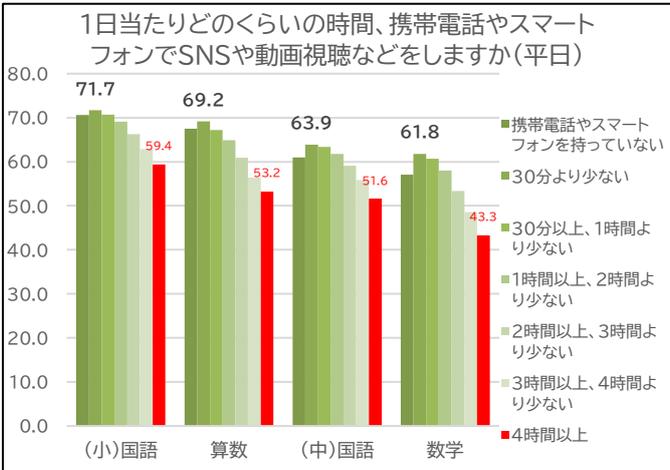
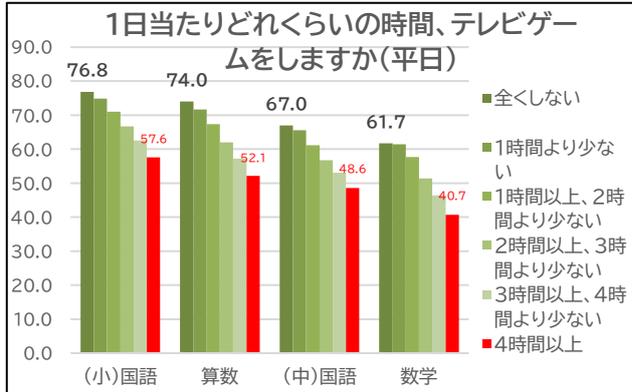
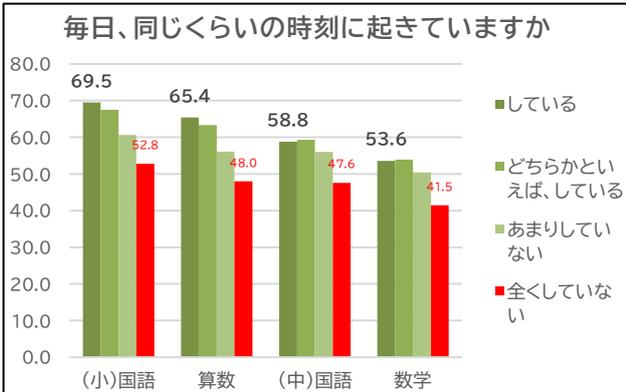
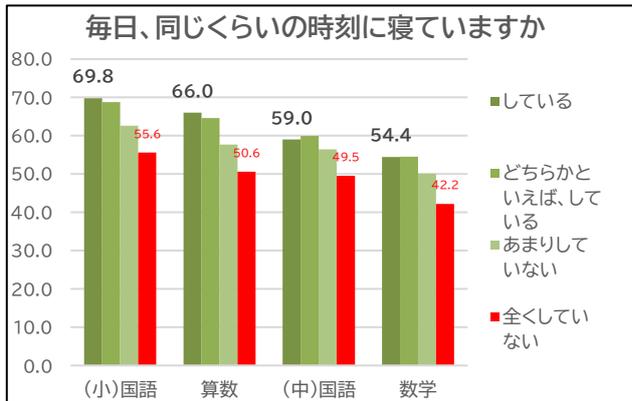
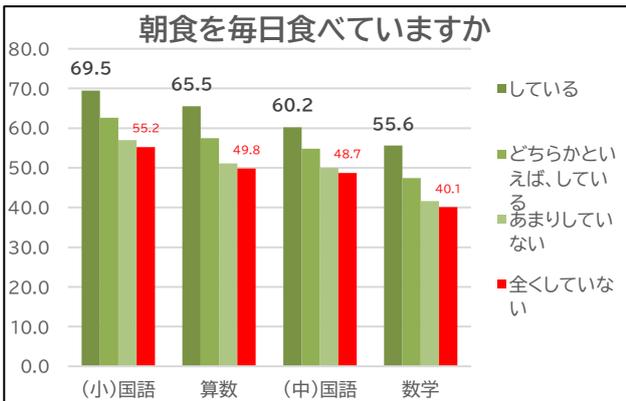


今号では、社会教育指導班から「生活習慣と学力」、義務教育指導班から「石狩管内の特別支援教育の取組」、高校学校教育指導班から「石狩教育局教科指導訪問(第二次訪問)」について紹介します。

社会教育指導班

「生活習慣」と「学力」の関係

今号では、全国学力学習状況調査より、「生活習慣」と「学力(各教科の平均正答率)」の関係についての考察。(データは令和6年度全国学力・学習状況調査 全国-児童生徒 より)



毎日、決まった生活リズムで過ごしたり、ゲームやSNS視聴時間を、節度を保って使用したりする方が、全国学力学習状況調査結果における各教科の平均正答率が高い傾向がみられる。



規則正しい生活を心がける

(朝食を食べる、起床・就寝時刻を定める)

⇒ **自己を調整する力**を高めましょう。

望ましい生活習慣を身に付けることは、確かな学力の育成をはじめ、子どもの成長の土台となります。社会教育指導班では生活習慣など、家庭教育に関わる講座などを短時間で行うことが可能です。社教班の「出前講座」を御検討の際は、社会教育指導班只野まで御連絡ください。(社会教育指導班社会教育主事 只野 浩太)

義務教育指導班

特別支援教育の取組

今回は石狩管内の特別支援教育の取組についてご紹介します。今年度、石狩管内特別支援教育の重点を「通常の学級に在籍する児童生徒の個別の教育支援計画等の積極的な活用の推進」「特別支援教育の専門性向上に向けた取組の推進」とし、各機関等が連携して取組を推進します。

特別支援教育総合推進事業

石狩管内特別支援教育における重点

事業
課題

発達障がいを含む障がいのある幼児児童生徒に対する支援体制の充実

R5
課題等

- 通常の学級における個別の教育支援計画の有効活用性の共通理解
- 全ての教員に対する個別の教育支援計画に関する研修等の実施

令和6年度の重点 Point

- 通常の学級に在籍する児童生徒の個別の教育支援計画等の積極的な活用の推進
- 特別支援教育の専門性向上に向けた取組の推進

取組

市町村教育委員会

- 活用の働きかけ
- 全ての学校に対し、通常の学級に在籍する児童生徒の個別の教育支援計画の作成及び活用
- 研修受講奨励
- 教員に対する専門性向上の取組

学校

- 校内委員会の機能強化
- 通常の学級における個別の教育支援計画等の活用の充実
- 研修の実施
- 全ての学校で教員に対する特別支援教育に関する研修の実施

医療・保健・保護者等関係機関

- 引継ぎの充実
- 個別の教育支援計画を活用した引継ぎ
- 研修の参加促進
- 特別支援教育に関する研修の周知等

教育局

- 指導助言
- 個別の教育支援計画の作成及び有効活用に向けた校内委員会の機能強化
- 研修機会の提供
- 特別支援教育に関する研修等の実施による専門性の向上



特別支援連携協議会では、重点の推進に向けたアイデアとして、「好事例の収集・発信」「福祉と教育の情報共有における活用」「校内委員会の機能強化」「研修会の実施、受講奨励」などが挙げられました。

今年度の重点の推進に向け、教育局では、今後、個別の教育支援計画の活用に関する好事例の収集や情報提供等を行いますので、各学校において積極的に活用願います。

(義務教育指導班主任指導主事 清水 拓海)

高等学校教育指導班

石狩教育局教科指導訪問(第二次訪問)

が始まります

Point

『授業改善』

- 視点1
- 視点2
- 視点3

個別最適な学び } ICTの活用
協働的な学び }
インクルーシブ教育

(教育上特別な配慮が必要な生徒への支援)

共通テーマ

各学校における「カリキュラム・マネジメント」や「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、学校教育目標や目指す資質・能力を踏まえた授業改善や教材研究、学習評価の改善・充実など、学校組織全体としての指導力の向上に向けた指導・助言を行い、高等学校教育の一層の充実を図る。

実施形態

教科における授業参観及び研究授業等を実施し、教育課程及び学習指導の領域に関して協議します。



【昨年度の教科指導訪問の様子】

石狩教育局教科指導訪問(第二次訪問)における授業改善を通じて、教師の指導力向上を図り、全ての生徒に必要な資質・能力を確実に身に付けさせるようにします。

(高等学校教育指導班主査 鈴木 肇)